令和5年和光市農業委員会9月総会会議録

和光市農業委員会

令和5年和光市農業委員会9月総会日程

令和5年9月25日（月曜日）午前10時00分開会

- 日程第1 開 会
- 日程第2 開 議
- 日程第3 議事録署名委員の指名 6番 小寺淳一委員 7番 吉田成実委員
- 日程第4 提出議案 議案第34号 農地法第5条許可申請について
議案第35号 農地法第5条許可申請について
議案第36号 農業委員会職員の任免について
- 日程第5 協議事項 ①令和5年和光市農業委員会10月総会の日程について
②和光都市計画生産緑地地区の変更について
③農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の変更について
④市民まつり農産物共進会の開催方法について
⑤優良農業者表彰の対象者の推薦について
⑥その他
- 日程第6 諸報告 ①会長専決について
②農業委員の活動報告について
③その他
- 日程第7 閉 会 午後 0時10分

出席委員（11名）

1番	新坂篤司君	2番	富岡和樹君
3番	富岡浩之君	4番	本多修君
5番	成田真理子君	6番	小寺淳一君
7番	吉田成実君	8番	田中和巳君
9番	富澤孝子君	10番	井口俊彦君
11番	浪間兼三君		

欠席委員（0名）

開会 午前10時00分

◎開会

◎開議

○事務局長（平川） 委員の皆様、おはようございます。

ただいまから令和5年和光市農業委員会9月総会を開会いたします。

それでは、会長、よろしく願いいたします。

○新坂会長 皆様、おはようございます。

秋の彼岸に入り、厳しかった残暑もようやく峠を越えたと感じる今日この頃ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

本日もスムーズな議事運営に努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、令和5年和光市農業委員会9月総会を始めます。

出席委員は11人中11名ですので、和光市農業委員会会議規則第6条による定足数に達しており、総会は成立していることを報告いたします。

◎議事録署名委員の指名

○新坂議長 初めに、議事録署名委員ですが、6番、小寺委員、7番、吉田委員を指名します。

◎提出議案

議案第34号 農地法第5条許可申請について

議案第35号 農地法第5条許可申請について

○新坂議長 それでは、議案に移ります。

議案第34号 農地法第5条許可申請及び議案第35号 農地法第5条許可申請についてを上程いたします。34号と35号は関連しておりますので、まとめたの上程となります。

事務局より説明をお願いします。

○事務局（江口） 議案第34号、35号 農地法第5条許可申請、議案書の1ページから6ページ目をご覧ください。

議案第34号 農地法第5条許可申請について。

譲受人、東京都板橋区成増五丁目**番**号、Aさん。譲渡人、和光市白子三丁目**番**号、Bさん。土地表示、下新倉六丁目**番。地目は登記簿、田、現況、畑。面積は959平方メートル

ル。目的は事務所兼資材置場。

続いて、議案書7ページから9ページをご覧ください。

議案第35号 農地法第5条許可申請について。

譲受人、東京都板橋区成増五丁目**番**号、Aさん。譲渡人、東京都板橋区高島平一丁目**番**号、Cさん。土地表示、下新倉六丁目**番。地目、登記簿、田、現況、畑。面積996平方メートル。目的、駐車場。

本案件は、市街化調整区域内の農地を権利設定を受ける者の資金で農地以外のものに転用するための申請です。

埼玉県知事に対する許可申請に当たり、農業委員会として意見を付すものになります。

先日、委員の皆様には申請地の確認をしていただきましたが、本日配付の写真資料1ページから2ページにも現地写真を掲載しておりますので、参考にご覧ください。

では、申請の経緯についてご説明いたします。

議案第34号及び35号の譲受人であるAさんは、新倉八丁目**番に事務所兼資材置場を、隣接する新倉八丁目**番に駐車場を設置し、事業所として利用していました。

しかし、朝霞和光資源循環組合が施行するごみ広域処理施設整備事業の実施に伴い当該地を明け渡すことになり、事業継続が困難になる見込みとなりました。

このため、近隣で移転先となる代替地を探したところ、今回の申請地である各農地の地権者から、転用し所有権を移転することについて同意を得たことで申請に至りました。

申請地の利用計画についてご説明いたします。

まず、議案第34号の計画については、議案書の2ページ目からをご覧ください。

申請地には事務所兼資材置場を整備し、西側に出入口を設けます。

周囲については、コンクリートブロック基礎の上にメッシュフェンスを設置する予定です。

なお、今回、事務所の建設が計画されておりますが、本来、市街化調整区域には建築物を設置することができません。しかし、本案件は都市計画法第34条第12項の規定により県知事に認められる事業とされるため、例外として開発行為の許可がなされる見込みとなっております。

根拠法令となる都市計画法第34条については資料2で説明していますので、後ほどご確認ください。

次に、計画の資金調達についてですが、工事見積書、資金調達計画書、残高証明書が提出されており、資金力については妥当性を確認しております。

次に、計画面積の妥当性についてですが、従前地の敷地面積は1,255平方メートルで、これに対し、申請地は959平方メートルとなっております。計画面積が妥当かご判断ください。

次に、申請地の周辺農地についてですが、北側と南側に農地がありますが、それぞれ地権者から計画について同意をいただいております。

計画から発生する周辺農地への被害防除についてですが、誓約書において、計画どおりの運用を確約しており、土砂流出等の影響は少ない見通しです。

また、農地区分についてになりますが、資料3をご覧ください。

市街化調整区域の農地につきましては、農地の区分というものがあり、農地は農地の位置や自然条件、都市環境等により5種類の農地区分に分けられております。

また、それぞれの農地区分によって農地転用の許可をどのようにするかという方針が異なります。

ここでは、農地区分について簡単にご説明させていただきます。

まず、第一種農地は、良好な営農条件を備えている農地で、集团的（おおむね10ヘクタール以上）に存在する農地となっており、農地転用は原則不許可です。

和光市では主に新倉八丁目、通称アグリパークと呼ばれる場所がありますが、その周辺が第一種農地に区分されます。

次に、第二種農地。

「市街化の区域又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地」に隣接する区域その他市街地化が見込まれる区域内にある農地で、農用地区域内にある農地以外の甲種、第一種農地及び第三種農地のいずれにも該当しない農地とされており、おおむね10ヘクタール未満の農地で、駅や高速のインターチェンジ、公共施設から500メートル以内にある地域内にある農地が要件となっております。

農地転用は原則許可となりますが、申請地に代えてほかの周辺の土地を供することで、当該申請に係る事業の目的を達成できる（代替地がある）と認められる場合は不許可となります。

続いて、第三種農地。

市街地の区域内または市街地化の傾向が著しい区域内にある農地とされており、上水道管、下水道管、またガス管のうち2つ以上が埋設された道路の沿道の区域であり、おおむね500メートル以内に2つ以上の教育施設、医療施設などの公共施設があることなどが要件となっております。

農地転用は原則許可される農地となっております。

その他の2つにつきましては、和光市には無い区域になりますので、参考として後ほどご覧ください。

今回の申請地につきましては、第一種農地の要件である、おおむね10ヘクタール以上の集团的農地には該当しておらず、また第三種農地の要件である上下水道管やガス管のうち2つ以上が埋設されている道路の沿道にも該当しないものとなっております。

その上で、第二種農地の要件である、市街化の傾向が著しい区域に近接する区域内にある農地の区域で、その規模が10ヘクタール未満であり、教育施設から500メートル以内であることに該当していることから、転用が原則として可能な第二種農地として判断できます。

続きまして議案第35号の計画についてご説明します。議案書はページをご覧ください。

申請地には駐車場を整備し、西側に出入口を設ける予定です。

周囲については、コンクリートブロック基礎の上にネットフェンスを設置する予定です。

なお、図面に記載されているトレーラーハウスについては、議案第34号の既存地である新倉八丁目**番に置かれていたものをこちらに移動させてくるというものになります。

次に、計画の資金調達につきましては、工事見積書、資金調達計画書、残高証明書が提出されており、資金力について妥当性を確認しております。

次に、計画面積の妥当性についてですが、従前地の敷地面積は1,059平方メートルで、これに対し、申請地は996平方メートルとなっております。

次に、申請地の周辺農地についてですが、北側と南側及び東側に農地がありますが、それぞれ地権者から同意をいただいております。

計画から発生する被害防除についてですが、誓約書において計画どおりの運用を確約しており、土砂流出等の影響は少ない見通しです。

農地の区分については、議案第34号と同様の要件を満たしていることから、第二種農地と判断されます。

事務局からの説明は以上です。

○新坂議長 この後、参考人が入室し、転用の経緯等についてご説明いただきますが、これまでの事務局の説明の中で皆様からご質問等はございますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 無いようなので、それでは、事務局、声がけをお願いします。

(参考人入室)

○新坂議長 ご紹介します。

申請者、Aさん及びBさん、Cさんの代理人としまして、Dさんにお越しいただきました。Dさん、本日はお忙しいところご苦労さまです。

和光市農業委員会では、農地転用の許可申請があった場合は関係者にお越しいただき、農地転用に至った経緯や工事の概要、申請地の利用形態等について説明の上、委員からの質問に答えていただく形になっております。

なお、和光市農業委員会会議規則第8条第2項の規定により、発言される際は必ず挙手により議長の許可を受けてから発言するようにしてください。

それでは、農地転用に至った経緯及び工事の概要と申請地の利用形態についてのご説明をお願いいたします。

○参考人（D氏） お願いします。

○新坂議長 お願いします。

○参考人（D氏） ご承知とは思いますが、和光市では清掃センターの建て替えを計画されております。候補地として、現在の清掃センターのはす向かい、旧清掃センターの敷地ということになっております。

しかしながら、今回の建て替えでは、朝霞市のごみも受け入れるということで、現在、和光市で持っている敷地だけでは足りないということで、旧清掃センターの周辺の土地も、敷地に含める計画であると聞いております。

その中で、今回、申請人、譲受人のAさん、こちらの敷地も2つ、その敷地の中に取り込まれることになりました。Aさんのほうでは、敷地が取り込まれるということで、ほかの代替地を探しておりましたら、Bさん、Cさんに協力いただけることになりまして、現在使っている土地から非常に近いということで、ぜひ利用させていただきたいと今回の申請に至った経緯でございます。

現在考えておりますのは、Bさんの土地については、資材置場及び事務所、店舗倉庫等を建てたいということで開発許可の申請をしております。

また、Cさんの土地については駐車場とし、従業員の自家用車及びトラックを停める予定です。

周囲に対する配慮ですが、資材置場については東側、南側が農地となりますので、メッシュフェンスを高さ1.85mのものを作りまして、それ以外は仮囲をしたいと考えております。

駐車場のほうにつきましては、ブロック3段積の上にネットフェンス、1.2mで計画してい

ます。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいま参考人からご説明いただきましたが、委員の皆様から何か質問はございますか。
質問のある方は挙手をお願いいたします。

○富岡（和）委員 よろしいですか。

○新坂議長 2番、富岡委員。

○富岡（和）委員 質問させていただきます。

申請地はいずれも隣地が農地になっていまして、特に下新倉六丁目**番のほうは、三方を農地に囲まれています。

ブロック塀を建てたり、大型車が駐車すると、日陰ができたり風向きが変わったりなど農業への影響が懸念されます。どのような配慮をお考えでしょうか、お聞かせ願いたいと思います。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） お答えいたします。

そちらにつきましては、周囲をネットフェンスとしましたのは、通風と日照を考慮してのことです。特に北側の農地については、緑地帯として1mの緩衝部分を作り配慮させていただきました。

照明については24時間をつけるということではなく、勤務時間8時、5時の間に出入りしたときにつけるということで、夜間ずっとつけておくということではありませんので、そのあたりも影響を考慮しております。

○新坂議長 2番、富岡委員。

○富岡（和）委員 今後、もし何らかの影響が出た場合は、きちんと対応していただくようお願いいたします。

○参考人（D氏） はい。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に何か質問のある委員はいらっしゃいますか。

5番、成田委員。

○成田委員 隣地の方には、何ら異議なく同意するということになっておりますが、隣地所有者に対して農地に与える影響について十分にご説明されているのかなというところをお聞きしたいんです。

特に今、夜間照明のことは、夜間は照明はつけないというお話だったんですが、つける時間帯もあるということだと思んですが、そういったときに、野菜の生育に対して大きな影響がもし万が一与えてしまったときに、実際にそういったときの対応ですね、対応について何らかの手当をしていただけるのかということをお聞きしたいと思います。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） お答えいたします。

防犯灯につきましては、指向性の高いライトを使わせていただくのと、先ほど申し上げましたように、出入りのとき暗ければつけるということとして、帰り終わってしまえばその後は切ったままですので、影響は非常に少ないと思っております。もちろん何か影響があるようであれば、それは誠実に対応させていただくことはもちろんです。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

7番、吉田委員。

○吉田委員 申請地はいずれも透水性アスファルト舗装をすることになっていますが、昨今のゲリラ豪雨を考えると、雨水処理が本当にそれで間に合うのか。もし大雨によって畑のほうに雨水が流入した際の工夫みたいなことは考えているのでしょうか。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） まず、資材置場のほうですが、図面に書いてありますように、貯水槽、特に貯水施設等を設けて万全を期したいと思っております。

また、駐車場につきましては、透水性のアスファルト舗装だけではなくて、緑地帯に側溝を設けそちらに流すことを考えております。

○新坂議長 7番、吉田委員。

○吉田委員 もう1つなんですけれども、図面を拝見する限り、この駐車場のトラックの出入りの開口部は全部20mまるまる使うんですか。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） 現地を見ていただくと分かりますが、行き止まりではないので、荷分け待ちで駐車しているトラックがあります。

それらが原因で渋滞が起こる懸念があるため開口させていただいて、スムーズに入れるように、開放形を取らせていただきました。防犯的にはリスクはありますが、渋滞を起こすよりいいだろうという考えでございます。

○新坂議長 7番、吉田委員。

○吉田委員 もし許可が下りた後に設計を変えるようなことがあれば、変更申請が必要になりますので、その際は農業委員会に相談するようにお願いいたします。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) ご指摘ありがとうございます。そのようにさせていただきます。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

9番、富澤委員。

○富澤委員 駐車場の件ですけれども、道路との高低差があるようですので豪雨の際は流出が心配です。想定を超える雨の場合の対応はどのようなものになりますか。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) 先ほど申し上げた通り、もしもの際も最大限対応させていただきたいと思っております。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

11番、浪間委員。

○浪間委員 先ほどトレーラーハウスのお話をされたんですけれども、これは駐車場に止めた運転手さんの休憩所という形なんですか。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) ドライバーの休憩や私物の保管、着替えをするためのものになります。

○新坂議長 11番、浪間委員。

○浪間委員 分かりました。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 それでは、私から1つ。

駐車場のほうですけれども、水道設備が予定されておりますが、こちらの水道の利用は洗車目的になりますか。

参考人。

○参考人(D氏) そうです。

○新坂議長 洗車される際に車の洗剤とかの利用はありますか。

参考人。

○参考人(D氏) 洗剤利用はあると思います。

○新坂議長 隣地は畑でもありますので、洗剤、流した後の泡が極端に隣の畑とかに流れ出ないように、恐らく無いようにしっかりされているとは思いますが、その点は注意されるようよろしくお願いいたします。

参考人。

○参考人（D氏） 十分に注意するように申してあります。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

5番、成田委員。

○成田委員 議案35号のほうですが、大型車が恐らく駐車場の両端に止まるのと思うのですが、排ガスが農作物にかかるとおもいます。食の安全性の観点から気になりまして、その点の配慮についてはどのようにお考えでしょうか。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） お答えします。

常時エンジンをかけることのないよう指導させていただきます。排気ガスそのものは完全には防げませんが、時間をできるだけ短くする形で進めさせていただきます。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 例えば前向き駐車していただくとか、そういったルールを設けることはお考えでしょうか。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） 1mの緑地帯を設ける配慮をしますので、影響は最小限になるかと思えます。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 そうすると、前向き駐車ではなくて後ろ向き駐車ということでお考えということですか。

○新坂議長 参考人。

○参考人（D氏） トラックの出入りの都合がありますので現在はそのような形を考えています。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 その辺について十分、もう一度確認していただいて、配慮が必要でしたら前向き駐車のご検討をお願いしたいと思います。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) ご要望は、しっかりお伝えしたいと思います。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

3番、富岡委員。

○富岡(浩)委員 図面にはトイレの設置が無いんですけども、トイレのほうはどうお考えですか。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) 設置は考えていません。

○新坂議長 3番、富岡委員。

○富岡(浩)委員 大丈夫ですか。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) 建築許可が下りるものならつけたいとは思いますが、多分無理だと思います。

○富岡(浩)委員 簡易的なトイレでも駄目ですか。

○参考人(D氏) 移動できるものですか。

○富岡(浩)委員 はい。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) 資材置場のほうトイレがありますのでそちらを利用いただく想定です。

○富岡(浩)委員 分かりました。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

2番、富岡和樹委員。

○富岡(和)委員 質問というかお願いなんですけれども、先日、現地確認させていただいて、この緑地帯を少し設けていると思います。そちらの方が耕作を丁寧にやられていらっしゃる方なので、例えば運転手の方がこの緑地帯を清掃するとか、そういう配慮もできればお願いしたい。

○新坂議長 参考人。

○参考人(D氏) 要するにメンテをしてほしいということだと思いますが、そのようなご希望をお伝えしておきます。

○新坂議長 他に質問のある委員はいらっしゃいますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 それでは、質問が無いようですので、質疑応答は以上となります。

Dさん、本日はお忙しいところお越しいただきありがとうございました。

(参考人退室)

○新坂議長 ただいま参考人からご説明や説明に対する答弁をいただきましたが、委員の皆様から何かご意見等ございますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 では、無いようですので、採決に移りたいと思います。

まず、議案第34号につきまして、許可相当ということに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○新坂議長 全員賛成。

よって、この議案は許可相当と意見を付すものといたします。

次に、議案第35号につきまして許可相当ということに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○新坂議長 全員賛成。

よって、この議案は許可相当と意見を付すものとします。

◎提出議案

議案第36号 農業委員会職員の任免について

○新坂議長 続きまして、議案第36号 農業委員会職員の任免についてを上程いたします。

事務局より説明をお願いします。

○事務局(江口) 議案書の10ページをご覧ください。

議案第36号 農業委員会職員の任免について。

農業委員会等に関する法律第26条第3項の規定により、下記のとおり同意を求める。

解任、農業委員会事務局局長を解く。事務局長、平川京子。令和5年9月30日。

任命、農業委員会事務局局長を命ずる。事務局長、大塚欣也。令和5年10月1日。

事務局からの説明は以上です。

○新坂議長 農業委員会職員の任免ですが、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(意見無し)

よろしければ、採決に移りたいと思います。

この議案に同意することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○新坂議長 全員賛成。この議案は同意されました。

○事務局長(平川) 本日ここで新任の大塚からご挨拶申し上げる予定でしたが、体調不良によりお休みをいただいているとのことで、申し訳ございませんが、次回の総会からよろしくお願いたします。

○新坂議長 分かりました。

以上で、提出議案の審議を終結します。

◎協議事項

①令和5年和光市農業委員会10月総会の日程について

○新坂議長 続きまして、協議事項に移ります。

協議事項①令和5年和光市農業委員会10月総会の日程について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(江口) 協議事項①令和5年和光市農業委員会10月総会の日程についてですが、10月26日木曜日午前10時からを提案させていただきます。場所は今回と変わり、3階の庁議室に戻ります。

なお、11月総会につきましては、まだ会議室を抑えられてはいませんが、11月27日頃の開催を予定しております。

ご協議のほどよろしくお願いたします。説明は以上です。

○新坂議長 では、10月26日木曜日の午前10時から、場所は3階の庁議室ということですが、皆様のご予定はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○新坂議長 では、10月26日木曜日午前10時から、場所は3階庁議室でお願いいたします。

また、11月につきましては27日頃の予定となっておりますが、現時点で都合の悪い方いらっしゃいますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 それでは、10月は26日の予定でよろしくお願いたします。

10月は26日、11月は27日の予定です。

◎協議事項

②和光都市計画生産緑地地区の変更について

○新坂議長 では、続きまして、協議事項②和光都市計画生産緑地地区の変更について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（江口） 資料4をご覧ください。

生産緑地を新たに指定したり、廃止にしたりするなどの変更がある際は、生産緑地法施行規則第1条の規定に基づき、和光市長から農業委員会に対し、対象地が農地に該当しているかどうか意見照会をすることとなっております。

このたび意見照会がなされたことから、この変更に対し農業委員会として意見がある場合は、和光市長に提出する必要があります。

本日は、この変更内容について直接説明を行わせていただくため、生産緑地の担当課である公園みどり課の職員にお越しいただいております。

説明をいただいた後、質疑応答を行い、意見がある場合は後日文書で回答し、意見が無い場合はその場で回答無い旨をご回答いただきます。

事務局からは以上です。

○新坂議長 では、事務局、公園みどり課に入室していただいでください。

（公園みどり課職員入室）

○新坂議長 それでは、説明をお願いいたします。

○公園みどり課（佐々木） 説明の前に、初めてなので自己紹介させていただきます。

○新坂議長 お願いします。

○公園みどり課（佐々木） 公園みどり課の佐々木と申します。よろしくをお願いいたします。

○公園みどり課（金岡） 同じく金岡と申します。よろしく申し上げます。

○公園みどり課（清水） 同じく清水と申します。よろしく申し上げます。

○公園みどり課（山口） 同じく山口と申します。よろしく申し上げます。

○新坂議長 お願いします。

○公園みどり課（佐々木） それでは、早速ご説明させていただきます。

まず初回ですので、初めに生産緑地の制度について簡単にご説明させていただきます。

生産緑地とは、良好な都市環境の形成を図るため、都市計画法によって生産緑地地区として指定された市街化区域内の農地です。

指定されると、相続税等の納税猶予が受けられるほか、固定資産税が免除されますが、指定から30年間は継続的に農地として維持管理する義務を負い、開発行為等の制限がかかる制

度となっております。

生産緑地は、毎年7月に追加指定の申請を受けているほか、農業従事者の死亡等による指定解除や市による買収、公共施設の設置に伴う指定解除等により変更しております。

これらの変更について、原則1年に1回、都市計画決定を行い、生産緑地地区を廃止しております。

今回、農業委員の皆様にご意見の照会をさせていただきますが、これは国土交通省が定めた都市計画運営指針により生産緑地地区に関する都市計画の変更に際しての農地の認定については、農業委員会の意見を聞くことが望ましいとされているためです。

それでは、今回の生産緑地の変更の概要についてご説明いたします。

今回の主な変更事由は、生産緑地地区に指定してから30年が経過したことに伴う指定解除です。

先ほどお話しいたしましたですが、生産緑地地区は指定から30年が経過するまでは、基本的には解除ができず、継続的に農地として維持管理する義務が生じます。

和光市での生産緑地地区の当市指定は、平成4年11月30日となっており、昨年の令和4年11月30日に本市で初めて指定から30年が経過して、生産緑地地区が変わりました。

なお、生産緑地地区は30年が経過したからといって自動的に解除になるわけではなく、解除するためには、必ず市に対して買収申出を行う行為制限を解除する必要があるがございます。

今回は、30年経過による買収申出が13件、従事者死亡による買収申出が2件、追加指定申請が3件ございました。それに伴い、生産緑地地区の変更は8地区、廃止が7地区、追加が8地区ございます。

それでは、生産緑地地区の変更の詳細につきまして、担当の金岡からご説明させていただきます。よろしく願いいたします。

○公園みどり課（金岡） それでは、お手元の資料をご覧ください。

和光都市計画生産緑地地区の変更と書かれた計画書が1ページ、次に理由書が1ページ、その後ろに新旧対照表が2ページ、変更概要書が2ページ、次、カラーの資料になりまして、変更概要図がこちら全部で12ページ分、最後に現況写真が9ページ分ございます。不足等はないでしょうか。

それでは、こちらのカラーの地図に基づいてご説明させていただきたいと思いますので、変更概要図の1ページ目をお開きいただいてもよろしいでしょうか。

では、概要図1ページ目のまず真ん中ですね、第3号生産緑地地区についてですけれども、

こちらは黄色で示したE様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除されまして、面積及び区域が赤線で囲われたとおりに変更となりました。

下段の黒文字のほうの変更前の面積、こちら約0.74ヘクタールですね、それが上段の赤文字のほうの変更後の面積になっておりまして、0.58ヘクタールとなりました。

以降のページも同様に、黒文字の部分が変更前、赤文字が変更後、削除する区域が黄色、変更後の生産緑地地区が赤枠で囲われる部分、追加の指定がある場合は、赤色のべた塗りで示しております。

では、次のページ、変更概要図2ページ目をご覧ください。

こちら第4号生産緑地地区ですが、F様とG様の農地が指定から30年を経過したこと。また、H様の農地がI様が亡くなられたことによる買取申出により削除されまして、面積及び区域が赤枠のとおり変更となりました。

では、めくっていただきまして、次の第27号生産緑地地区をご覧ください。

こちらはJ様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、地区の廃止となりました。

次の第60-5号生産緑地地区をご覧ください。

K様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、面積及び区域が変更となりました。

めくっていただきまして、次のページです。変更概要図5番。

こちら上下2つ、2種類の生産緑地ございますが、まず上側の第182号生産緑地地区をご覧ください。

こちらは赤塗りになっております。L様から追加指定の申請書が提出されたことによりまして、生産緑地地区が新しく追加されます。

その下の第61号生産緑地地区につきましては、M様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、面積及び区域が変更となりました。

次、変更概要図6ページ目ですね。こちらも上下に分かれておりますが、まずは上側の第78号生産緑地地区をご覧ください。

こちら、まず赤色で塗ってある部分、こちらがN様から追加指定申請書が提出されたことにより、既存の第78号生産緑地地区に追加されました。さらに、こちらの地区は、N様とO様のお二人の所有者で構成された地区になっております。O様より、このたび所有者ごとに地区を分割したいという申出がございまして、N様所有の下側の地区のほうを第78-1号生産

緑地地区、O様所有の上側の地区を第78-2号生産緑地地区として分割いたしまして、新しく指定をすることになりました。

次、同じページ下側の第74号生産緑地地区についてですが、P様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除されまして、面積及び区域が変更となりました。

次のページです。変更概要図7。こちらの上側ですね、第80号生産緑地地区をご覧ください。

こちらはQ様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、面積及び区域が変更となりました。

同じページ下側の第79号生産緑地地区については、R様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、面積及び区域が変更となりました。

次のページ、変更概要図8の上側ですね、第83号生産緑地地区はS様、下側の第81号生産緑地地区はN様の農地がそれぞれ指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、地区の廃止となりました。

次のページ、変更概要図9をご覧ください。

第84号生産緑地地区のT様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、地区の廃止となりました。

次のページ、第94号生産緑地をご覧ください。

こちらはR様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除されました。それに伴いまして生産緑地地区が分断されましたので、右側の地区を第94-1号生産緑地地区、左側の地区を第94-2号生産緑地地区として分割し、新しく指定することとなりました。

次のページ、第111号生産緑地地区をご覧ください。

こちらはU様の農地が指定から30年を経過したことによる買取申出により削除され、面積及び区域が変更となりました。

最後ですね、次のページ、第127号生産緑地地区をご覧ください。

こちらはV様の農地がW様が亡くなられたことによる買取申出により削除されました。それに伴いまして、生産緑地地区が分断されましたので、上側の地区を第127-1号生産緑地地区、下側の地区を第127-2号生産緑地地区として分割し、新しく指定をすることとなりました。

同じページに赤いべた塗りの部分があるんですけども、こちらはX様から追加指定申請書が提出されたことにより、第181号生産緑地地区として新しく追加されます。

なお、こちら、第127-1号生産緑地地区内に重なって表記されていますが、127-1の赤枠の部分については、こちら一帯が越後山土地区画整理事業地区内の従前の土地の位置を示しています。区画整理が終わりましたら、換地後の土地に対して改めてこの赤枠の部分は指定をし直すこととなります。それに対しまして、この181号については、同じく区画整理地区内なんですけれども、保留地という土地の性質上、区画整理後も場所や面積は変わらない土地となっております。ですので、地図上では重なって表記されているんですけれども、実際には違う土地をそれぞれ生産緑地地区として指定することとなります。

詳細については以上となります。

○公園みどり課（佐々木） 変更の詳細については以上となります。

変更の手続の流れとしては、皆様のご意見を伺った後、10月に県知事協議をいたしまして、その後、案の縦覧を行います。そして、12月の和光市都市計画審議会に諮問し、生産緑地地区を変更する都市計画決定を行います。最終的には、都市計画変更を年内に告示することで、今回の都市計画生産緑地地区が確定いたします。

生産緑地地区の変更に関する説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいまの説明に対して農業委員会としては、変更後、または追加された当該生産緑地地区内の土地が農地に該当しているかどうかを意見するものになります。ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

委員の皆さん、どうですか。ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

実際、その土地は農地として使われているかどうかというところを見るというか、チェックするということでよろしいんですね。

○公園みどり課（金岡） はい。特に追加指定、今回3件ございますので、こちら既に農地として該当していますよということでご意見をいただいているんですけれども、改めて皆様のほうにもご確認いただければと思います。

○新坂議長 どうですか。ご質問等無いでしょうか。

（発言する者なし）

○新坂議長 では、皆さん、質問等無いようですので、回答はこれで終了したいと思います。

では、公園みどり課の皆様、本日はどうもありがとうございました。

○公園みどり課（佐々木） ありがとうございました。

（公園みどり課職員退室）

◎協議事項

③農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の変更について

○新坂議長 では、続きまして、協議事項③農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の変更について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（江口） 協議事項③農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の変更について。

資料5をご覧ください。

前回8月総会において説明させていただきました基本構想の変更案についてですが、先日、議案書をお配りした際に修正版を同封いたしました。内容のほうはご確認いただけましたでしょうか。

そちらを踏まえた上で、今回、資料5として、変更箇所を反映させた改修版を用意させていただいております。

こちらの修正案についてご質問、ご意見をいただきたいと思っております。

説明は以上です。

○新坂議長 ただいま事務局から説明がありました基本構想の変更についてですが、ご意見、ご質問はございますか。

今回、見ると、GAPに関しての追加ということが分かると思うんですけども、そちらについて説明をお願いします。

事務局。

○事務局（江口） 今回、主な変更点について補足説明という形になりますが、今まではエコファーマーを推進していくというような記述になっていましたが、県から、これからはS-GAPという農業の経営管理についての基準に集約していく方針になっておりますので、市の構想についても、それに合わせたものという形としております。

またその他、これから地域計画というものを作っていくこととなりますので、それについての記述もメインとさせていただいております。

全体的に新しくできた法律に則った内容に改正したというものになります。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明に対して何かご意見、ご質問等ある方いらっしゃいますか。

○事務局長（平川） S-GAPのパフレットがあるので、後でお配りをするようにお願いします。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 今、S-GAPの話がありましたが、S-GAPをこの場で簡単に説明するのは難しいところがございますので、後ほどパンフレットをお配りします。そちらを確認いただいて、これから意欲的に農業をやっていきたい方がなるべくこのS-GAP認証を取るよう進めていきたいと思っておりますので、ご参考いただければと思います。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に何か質問等ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○新坂議長 よろしいですかね。

他になければ、この内容で決定ということでよろしいでしょうか。

賛成の方は挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

○新坂議長 全員賛成。

それでは、事務局、この内容で県に報告をお願いいたします。

事務局。

○事務局（江口） もう1つ補足としまして、この構想を今回ご承認いただきましたが、今後県から多少の文言や言い回しの修正がある予定です。

大筋の内容については変更ありませんので、ご承知いただければと思います。

○新坂議長 ありがとうございます。

◎協議事項

④市民まつり農産物共進会の開催方法について

○新坂議長 それでは、続きまして、協議事項④市民まつり農産物共進会の開催方法について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（江口） 協議事項④市民まつり農産物共進会の開催方法について、資料6をご覧ください。

前回、8月総会でご協議いただいた内容の続きになります。

まず、検討課題がそれぞれ2つご用意させていただきまして、人參共進会の実施の是非に

ついてと、また新たな出品項目についてご協議をいただいたところです。

まず、検討課題1、人参共進会実施の是非についてですが、その後、前回の人参共進会参加者のうち6名からご意見をいただいたところです。資料をご確認ください。

前回の参加者6名からの意見としましては、今年実施するとした場合、参加をどうされますかという質問に対し、年々人参の種まきの時期が遅くなっているため、11月中旬では十分に育っていない。また、人参の面積そのものを減らしている。近年では多品目生産になっているため、人参のみを対象とするのは現状にそぐわないのではないか。そういったご意見を送っていただきまして、これらを理由に約半数の方から今年度実施したとしても参加できないというふうに回答をいただいています。

また、その上で提案としまして、人参以外の品目をピックアップして実施したらどうかというご意見と、あと人参共進会に代わるPRができれば坪掘りにこだわる必要は無いのではないかとご意見もいただいております。

また、その次、検討課題2、展示・体験会など、新たな出展項目を実施するかどうかについても前回参加者から意見をいただきました。

事務局が提案した検討案については、この枠の部分になります。これらにつきまして期待できることとして、広く市民に農業への興味を持ってもらうことはよいことであるということ。また、時代に即したPRになるというご意見をいただいた一方、懸念することとして、体験に使う野菜や資材はどのように用意するのか。また、共進会の通常開催が4年間途絶えていたため、新規事業をここで行うと混乱を招くのではないか。また、もう少し多くの意見を聞いたほうが良いとご意見をいただいております。

このような結果から、仮に実施するとした場合でも、人参共進会につきましては、十分な参加者が見込めない状況となっておりますので、今回は実施しない方向で実行委員会に諮ってよろしいかというところで協議をいただきたいと思いますと思っております。

また、検討課題2のほうにつきましても、このような意見を踏まえまして、新たな出展項目についてどのように進めていくのがよろしいかご協議をいただきたいと思いますと考えております。

なお、第1回共進会実行委員会は、今週の木曜日、28日の開催を予定しており、委員となつていただく予定の農業委員の方々、また農業関係者団体代表、また集落支部長については、既に案内文書を送付しております。

以上、ご協議のほどよろしく願いいたします。説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明があった2つの検討課題について、皆様からご意見をいただきたいと思ひます。

まず、人參共進会について、皆様、ご意見ありましたらよろしくお願ひいたします。

11番、浪間委員。

○浪間委員 前回の人參共進会の参加者6名の方から意見を伺ったということで、約半数の方から今年は参加できないとご回答いただいた。残りの半数というか、何人かの意見はどんな感じ、感触はどんな感じだったのか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 残りの方々につきましても、積極的に参加するというよりも、もし実施するのであれば協力はさせていただきたいということでした。

ただ、やはり種まきの時期は遅くなっているのて、十分によく育った人參は出せないかもしれないというご意見はいただいております。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に何かご意見、ご質問等ある方いらっしゃいますか。

（発言する者なし）

○新坂議長 いろいろ出品された参加者からの意見もそろっておりますので、それを参考にここで採決ということによろしいかと思うんですけども、いいですか。

○浪間委員 これまでもかなり無理してお願いしている感じなんですかね。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） やはりここ数年間ずっと同じ方に参加をお願いしているところもございまして、その方々からもそろそろいいかなというようなご意見でしたので、いい機会かと考えております。

○新坂議長 4番、本多委員。

○本多委員 特に今年は猛暑で収穫が減ってしまつて、種まきの時期も雨が降らないでというところで、種まきがかかなり後回しというか、遅くなった農家さんがほとんどだと思ひますよね。この時期、実際どうなのか、生育状況はどうなのかって考えたときには、しっかりした人參がそこまで育つかなという心配も今年は特にありますよね。

でもここでやめたら今後もずっとやめることになってしまう。

○新坂議長 最終的にこれ決定するのは、共進会の実行委員ですよね。

○事務局長（平川） 実行委員ですね。

○新坂議長 ここでは農業委員会としての意見をまとめるということですので。

○事務局長（平川） 実行委員会に対してのたたき台を提案するという形になりますので、一つの意見として、今回は見送るということもあると思います。

また、例えばこの提案で、人参共進会に代わるPRとして、試食を行うとか、人参を使ったお菓子を作るなど、和光の人参を何らかの形でPRできないかも考えられると思います。

○新坂議長 9番、富澤委員。

○富澤委員 試食を行うにしても、だれが作るかの問題もあります。予算的なものも。

○事務局長（平川） 予算が難しい場合は、ポスターやチラシでのPRも考えられます。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 和光市が人参生産が盛んだということをご存じない人が多いのかと思います。人参クッキーとか人参うどんみたいなものをメインにすると理解しやすいと思いますが、新しくこちらに転入してきた方だと特に知る機会がない。なので、和光市の人参生産の歴史みたいなものをお伝えしつつ、人参レシピを紹介するのもいいかなと。人参というと、カレーとか肉じゃがとか、その辺しか思いつかないんですけれども、ケーキとか、いろいろ活用できるのかなと思うので、そういったものを紹介しつつポスターにするというのもいいのかなと思います。

○新坂議長 ありがとうございます。

事務局。

○事務局（江口） 今、人参のレシピの紹介ということでご提案いただきまして、ありがとうございます。

昨年度、共進会は縮小規模のため、和光の農業のPRということでパネル展示を行いました。そこで、どういうものが採れる、どういうことをやっているかという取組を紹介しましたので、パネル展示を広げるような形で、新たな展示を作るのはいいことだと思います。

○新坂議長 人参共進会に代わるイベントという形ではないですけれども、パネル展示等を利用して、和光は人参の生産、今は多品目ですので、人参が一番というわけではないですけれども、歴史ある和光の産物であるということとPRする、PRしていこうということでパネル展示を利用するというのでよろしいでしょうかね。

では、農業委員会としては、坪掘り共進会はどうするかというのを最後、意見をまとめて、今度の実行委員会のほうに持っていきたいので、多数決でいいですかね。

では、坪掘り共進会の開催、実施、もしくは中止ということで多数決を取りたいと思います。

中止に対して賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○新坂議長 全員賛成。

よって、今年の人参の坪掘り共進会は中止ということで、実行委員会のほうに意見を持っていきたいと思います。

では、次に、新たな出展項目の実施についてご意見をお願いしたいと思います。

こちら検討課題2ですね、展示・体験等、新たな出展項目の実施についてということです。資料6には4つ案が出ておりますが、どうでしょう。

コロナ禍が明けて、フルバージョンで市民まつり、共進会をやるのは、今回が初めてです。また、事務局も経験者が少ないのが実情です。

ですので、いきなり新しいことに取り組むのもなかなか難しいのではないのかなというのが個人的な意見なんですけれども、皆様、どうお考えでしょうか。ご意見がありましたらよろしくをお願いいたします。

6番、小寺委員。

○小寺委員 農業委員で共進会を経験したことはある人は新坂会長のみです。かなりばたばたするかなと思うので、案をいろいろ考えるのはいいとは思いますが、今回、新規事業を行うのは、難しいのかなと正直思います。

○新坂議長 ありがとうございます。

参考までに、去年はパネル展示ということで、市内の農業を紹介するパネルを展示したり、後継者倶楽部で作った紙芝居とかを展示したりして、市民の方に見ていただいたんですね。その他におもしろ野菜とか、そういうものを並べたりして見ていただくことにしたんですけれども、去年のパネルも残っておりますので、そういうものを活用しながら、今年は通常の共進会に皆様慣れていただくというか、無事に共進会が開催できるように、それに集中して、新しいことは来年以降進めていくという形が無難じゃないかなとは思いますが、どうでしょう。よろしいですかね。

5番、成田委員。

○成田委員 前回もご提案させていただいたんですけども、ぜひお子さんを通じて保護者の方と一緒に学べるような、1番のクイズ形式のものは、今年は期間的に準備が難しいということであれば、来年以降にぜひやっていただければと思います。その中で、例えば10問あって10問正解したら、何かもらえるととか、そういったものがあると、余計楽しくできるのかなと

思いますので、よろしく申し上げます。

○新坂議長 ありがとうございます。

そうですね。当日、市民まつりの午前中というのは、出品していただいた野菜を小ホールに並べて、市民の方に見ていただく時間も2時間ぐらいありますよね。その時間を利用して、小ホールの前のホール、小さいスペースがあるので、宝船とかを展示したスペース等もあるので、そういう場所を活用してクイズ大会や泥んこ遊びに活用することはできると思います。

ただ、準備、企画等するには、ちょっと時間が足りないのと、通常の共進会をするにも、まだ初めてで要領がつかめていないので、新しいことをやるにはハードルが高いなというのが現状かと思います。

ですので、今年はこの案はなしで、通常開催のみということで進めていけたらと思うのですが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○新坂議長 では、その方向で進めたいと思います。

◎協議事項

⑤優良農業者表彰の対象者の推薦について

○新坂議長 では、続きまして、協議事項⑤優良農業者表彰の対象者の推薦について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(江口) 協議事項⑤優良農業者表彰の対象者の推薦について。

農業委員会では例年、和光市民まつり農産物共進会の際、和光市の農業の振興、発展を図ることを目的に、優良農業経営者、優良農業後継者、優良農業配偶者の表彰を行ってまいりました。

令和2年度から4年度は市民まつりの中止・縮小により、表彰についても中止となっておりましたが、本来の規模に戻ることから、表彰についても再開させたいと考えております。

このため、表彰候補者の選考についての協議となります。

資料7をご覧ください。

こちらが今回、表彰の対象となる可能性のある方ということで、事務局のほうでピックアップさせていただいている方になります。

資料7のもう1枚目をご覧くださいと、こちら表彰の要綱になっております。これが表彰に対する基準という形になります。

簡単に読み上げますと、表彰者は市内の農家について、次の各号に該当する農業者であつて、農業委員が推薦するものとするとなっておりまして、人格的に地域農業者からの信頼が厚い人。優良農業経営者は70歳以上であつて、農業に従事し、今後とも可能な人。農産物生産において特に優良な人。農業経営の近代化、合理化などにおいて顕著なる成績を収めた人。

表彰者の選考は、農業委員会が行い、表彰は農業委員会長の名において行う。表彰者数は、優良農業経営者、優良農業後継者、優良農業配偶者合わせて6名以内とするとなっております。こういった基準を基にピックアップさせていただいた方が先ほどの表となっております。

各集落ごとに、年齢が70歳以上かつ事務局で把握している認定農業者や年間農業従事日数が多い方等を合わせていただいたものになります。

あくまでこちらは事務局で把握している方ですので、このほか各集落で表彰に該当する方がいらっしゃった場合はご紹介いただきたいと考えております。

こちらの選考の方法についてですが、まずはリストを参考に、農業委員の皆様から集落支部長に打診をいただいて、推薦者を紹介していただくという流れにしたいと考えております。

ご多用のところ大変恐縮ですが、10月18日までに候補者を挙げていただいて、10月の農業委員会総会において、最終的に表彰者を決定するという流れにしたいと考えております。

ただ、課題もございまして、表彰が4年間行われていなかったために、対象者が非常に多くなってしまっております。また、要綱では、先ほど申し上げたように一度の表彰は6名以内となっておりますので、これに従うと表彰を受けられない方が多くなってしまいますので、こちらの上限を例外的に増やすかどうかについてもご相談したいと考えております。

また、この他に、表彰を受けた方には副賞として記念品を贈呈しているんですが、前回につきましては置時計をご用意させていただいた経緯がございます。こちらの置時計に農産物共進会何々賞といった刻印をしたものを副賞としてお贈りしておりました。

こちらにつきましても、商品のアイデア等ございましたらご提案いただきたいと思います。

以上、優良農業者表彰につきましてご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上です。

○事務局長（平川） 確認ですが、今回、皆様のお手元に配付しているのは、優良農業経営者表彰要綱、優良農業後継者表彰要綱、裏面に優良農業配偶者表彰要綱、3つの要綱がお配りしていますが、こちらのリストは、優良農業経営者を想定しているものなのか。それとも、配偶者も含めた形で想定してピックアップされているのか。これは後継者表彰は入っていないリストになります。そこを補足してもらっていいですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） はい。今回リストアップさせていただいたのは、優良農業経営者になりますが、配偶者としての区別はしておりません。

対象者が非常に多いということで、今回は後継者はリストには入っていない状況です。

○新坂議長 ただいま説明がありましたが、表彰者の推薦から表彰式までの流れについてご意見、ご質問等ございますでしょうか。

8番、田中委員。

○田中委員 自分の担当地区は東本村、西本村なんですけれども、こちらから推薦をさせていただきたいとって提出する形になるんですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） はい。今回は各集落から選出母体の代表としていただいていますので担当地区の集落支部長さんにお声がけいただいて、この各集落で誰を推薦したいということをお願いして、その推薦者をまず挙げていただくと。それを農業委員会に出していただいて、その中から最終的に6人か、あるいはプラス何人かという形で最終的に候補者を決定したいので、今回、農業委員の皆様には、各選出集落にお声がけをお願いします。

○田中委員 今現在、農家をやられている方ということですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） リストに挙がっている方は、今、8.1調査などを踏まえた事務局で把握している方になるんですが、農業を精力的にやられている方、あるいは直近までやっていて、最近になって引退された方などがメインになっています。

あと、実際表彰を行う際は、当日来ていただいて、賞状を受け取っていただくことも必要になりますので、表彰を受ける意思のある方を優先にさせていただければと思います。

中には、推薦されても辞退される方もいらっしゃいますので、なるべく辞退されず、積極的に受け取っていただく方を推薦していただければありがたいと思います。

○新坂議長 10番、井口委員。

○井口委員 大体年齢順に表彰されることが多かったんでしょうかね。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） これまでもある程度年齢順ということが多かったです。

ただ、やはり4年間空いてしまったということで、なるべく年上の方を優先していただければと考えております。

- 新坂議長 8番、田中委員。
- 田中委員 順番で決めていたわけではないですかね。例えば85歳の人がもらったから、次に定められた年齢の人になるという。
- 新坂議長 事務局。
- 事務局（江口） 基本的には支部の中の意見を尊重する形にしたいですので、支部から強くこの人がというのであれば、その方にさせていただきたいですし、支部の意向によって年功序列ということであれば、一番上の方を推薦していただくという形で構わないと思います。
- 新坂議長 10番、井口委員。
- 井口委員 年齢順にある程度選んでいただいたほうが、揉めることが少ないと思います。年齢の近い方が多いと、あの人表彰されて、何でこの人表彰されない。何かしこりを残すようなことはないようにしたい。
- 新坂議長 コロナで4年分待たせてしまったというのが、やはりすごく大きいですね。
- 井口委員 今年は特別に枠を増やしほうがいいのかなとも思うんですけども。
- 新坂議長 そうですね、枠を増やせるかということについて、事務局より説明をお願いします。
- 事務局（江口） 枠につきまして、要綱では6名という形にはなっていますが、農業委員会での同意を得たということで、6名から2名増やして8名という形は可能と考えております。
- 新坂議長 優良農業後継者に関しては、まだ年齢も若いということもあるので、後継者よりも経営者のほうを優先的に進めていけたらと考えてはおります。また、表彰の枠を増やすのも、表彰の副賞とかの予算の関係もありまして、できればたくさん、本当に倍ぐらい表彰したいのはやまやまなんですけれども、経費との絡みもありますので、2名ぐらいが限度ということでお考えください。
- 田中委員 今回候補に上がっている方は、一度も受賞していないということでもいいですか。
- 新坂議長 事務局。
- 事務局（江口） こちらのリストは、これまで表彰を受けられたことが無い方になります。
- 新坂議長 8番、田中委員。
- 田中委員 前回表彰を受けられた方はわかりますか。
- 新坂議長 事務局。
- 事務局（江口） 前回、4年前に受けられた方はリストを持ってきていないため今はご説明できませんが、歴代受賞者も記録を取っておりますので後ほどご紹介できます。
- 田中委員 井口委員が言われたとおり、順番じゃないですけども、いきなりこっちで若い

人を推薦して、他の地区の人が年配の方を推薦されたら、どうしても、年配の方にお先どうぞとなってしまいます。であれば順番で決めてたほうがありがたいかなど。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 歴代受賞者のリストを後ほど用意しますのでご参考ください。

○事務局長（平川） 80代の方が11名いらっしゃるんですね。

○新坂議長 皆さん、受賞、意思もありますけれども、11名。ここ数年は年齢を優先して受賞者を決めていくというやり方で。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 このリストの認定農業者に丸がついている方というのは、どういった意味なんですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 説明が足りず申し訳ありません。

認定農業者というのは、市に農業経営改善計画とあって、今後5年間の農業経営をどう改善していくかということを確認に計画書として出して、それが認められた方が認定農業者という形になります。丸がついている方が認定を受けられた方ですので、今回の対象者の中でそれを受けられた方がこちらの2名という形になります。

○成田委員 分かりました。ありがとうございます。

○事務局長（平川） 年齢を優先すると、支部のバランスが偏ってしまう懸念もあります。どの方法がより多くの方にご理解いただけるか、方向性を出して決める必要があります。

○新坂議長 そうですね。だから、支部長との相談で、支部の意見というのが一番重視、候補者がそろったら、年齢を加味してというやり方でしょうか。

4番、本多委員。

○本多委員 各集落から候補者が決まったらそのなかからまた選ぶわけですか。

○新坂議長 そうですね。

○小寺委員 私は3集落からの推薦ですが3名候補をあげればいいんですかね。あるいは2名でもいいのか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 通常であれば最終的に6名に収めていただくという都合があるので、どちらが1名でお願いしたいですが、今回特別に上限を超えて選ぶため、2名から3名程度になっても大丈夫です。

まずは、支部長さんで候補者を挙げていただいて、その候補者の中から最終的に農業委員会として選んでいただくと。

○新坂議長 7番、吉田委員。

○吉田委員 事務局で年齢順で選ぶというのが一番分かりやすいと思います。8.1調査では年間農業従事日数少ない方も、長年農業をやっていた方もいらっしゃいます。そういう方が表彰されず、もっと若い人が表彰されるのは、おかしいんじゃないかと思う人もいます。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 こういった表彰のときは、経験年数がよくピックアップされてきますが、基本的に農業経営者というのは、どのくらい経験しているかというのは、事務局は把握されているんですか。

例えば一般の会社に勤めていて、途中から就農したという方もいるかもしれない。その辺の経験値というところはどうか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 要綱での基準としては70歳以上で、農業をやられていた方で、農業を何年やったかというところまでは見ているものではないです。

8.1調査では、年間の従事日数しか記入いただいてませんので、何年従事したという情報がないです。なので、そういった事務局では見えない部分があるので、集落の皆さんがよくご存じの部分から推薦していただくという形です。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 例えば同じ年齢の方で1人の方が表彰されて、1人の方がされなかったといったときに、されなかった方のほうが経験値としてはすごく長いといったこともあるかと思ったんですが、そこまでは考えないというこでしょうか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） なるべくそういう部分にも配慮したいとは思っていますが、何分、事務局だけでは、そういった各集落の人たちの実情、詳細までは把握し切れないところがありますので、なるべく支部で話し合っていたいただきたいというところです。なので後日、共進会実行委員会がありますので、そのときに支部長さんに集まっていただきますので、その説明をさせていただきます予定です。

○小寺委員 実行委員会でこの話をまたされるのであれば、今すぐ支部長さんとお話するん

じゃなくて、それまで待つてからしたほうがいいですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） そうですね。そのほうが話が通りやすい可能性もありますので、一度、事務局から支部長さんにお話しさせていただいてから、農業委員さんから話していただきたいと思います。

○新坂議長 なかなかまとめづらい話ではあるとは思いますが、いかがでしょう。
4番、本多委員。

○本多委員 後継者と配偶者というのがあるようですが、経営者だけでいいんですか、推薦するのは。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 今回は先ほどお話しがあったように後継者は対象に入れていないというのと、このリストでは経営者と配偶者の区別をしていませんので特に配偶者として分けずに経営者としてご推薦いただきたいなと思っております。

○新坂議長 8番、田中委員。

○田中委員 確認ですが、女性の方は配偶者のほうに載せているということなんですか。

○新坂議長 事務局。

○事務局（江口） 今回、女性だから配偶者とはしておらず、農業に従事していた方の年齢を基準にしています。

○田中委員 分かりました。

○新坂議長 4番、本多委員。

○本多委員 それでマックスは何名でしたっけ。4年間できなかつたんだから上限をあげていような気がする。8名とは言わずもう少し、予算の関係もあるんだろうけれども。

○富岡（和）委員 いいですか。

○新坂議長 はい。

○富岡（和）委員 事務局は8名ということでしたが、各地区からの代表の農業委員さんが8名なのでということでしょうか。支部長さんからそれぞれの集落で推薦があったら、できれば皆表彰対象としたほうがいいのでは。

○吉田委員 例えばですけれども、東本村で80歳以上の方が10人エントリーして、三協で70歳前半の方が1名エントリーとした場合、各支部から1人ずつだと、東本村の人は80以上の方が大勢いても1名しか表彰されず、三協は70台前半で表彰されることになるけど大丈夫でし

ようか。

○事務局長（平川） 集落のバランスも配慮すべきではありますが、今回はイレギュラーな対応ということで、80歳以上の方を優先するとしたほうが説明がつきやすいと思います。

今回に限って年齢で対象を絞るので、集落から推薦されない場合もあるということをご了承いただくという形で今回は調整させていただくということも一つの方法かと考えますがいかがでしょうか。

○新坂議長 4番、本多委員。

○本多委員 表彰式に出席出来る人を優先という説明もしておいていいんじゃないですか。80歳以上の方に対して。

○新坂議長 6番、小寺委員。

○小寺委員 さすがに90歳以上の方をお呼びするのは難しいと思います。そうなると代理の方が多くなってしまうと思います。どこかで基準は設けざるを得ない。

○新坂議長 では、今年は年齢を基準にするということをもまず一番に、次に受賞意思があるということでもよろしいですかね。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 要綱では現職で従事されている方というのが対象なんですよね。

80歳以上条件を満たしている方がたくさんいらっしゃるなら今年だけじゃなくて、来年も上限あげてもいいと思います。

○事務局（江口） 従事の解釈としては、直接農作業を行わなくても、指示をしたり、見回りを行うことも従事にあたると考えています。

○成田委員 謙虚な方だとそういうことを理由に辞退される判断されることもあると思うので、条件に当てはまるということはお伝えしたほうがいいと思います。

○新坂議長 では、今年は80歳以上で何らかの形で従事でされている方を優先して対象とするということで皆さん、各支部に持ち帰っていただいて、支部長と相談の上、推薦していただくということでもよろしいですかね。

（発言する者なし）

では、そのような方向で進めていきます。

◎協議事項

⑥その他

○新坂議長 続きまして、協議事項⑥その他について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（江口） その他につきましてはございません。

○新坂議長 ありがとうございます。

では、協議事項は以上とします。

◎諸報告

①会長専決について

○新坂議長 続きまして、諸報告に移ります。

諸報告①会長専決について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（江口） 諸報告①会長専決についてです。

議案書の11ページから18ページをご覧ください。

今月の会長専決は、3条届出が1件、5条届出が4件となっており、現地の状況は写真資料3ページから7ページとなっておりますので、ご確認ください。

写真の補足をいたしますと、会長専決1号は3条届出となっております。農地の相続があったことを届け出るものです。写真では家が建っており、既に転用されていますが、地目が畑のままになっていたので、改めて3条届出がなされたものです。

2号から5号は所有権移転を伴う転用で、5条届出になります。

いずれも区画整理地内の転用で、既に開発が進んでいる場所になります。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問等ございましたらお願いします。

（発言する者なし）

○新坂議長 よろしいでしょうか。

よろしければ、会長専決は以上とします。

②農業委員の活動報告について

○新坂議長 続きまして、諸報告②農業委員の活動報告について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（江口） 今月の活動の共通事項につきましては、写真資料の8ページになります。

9月11日の農地利用最適化研修会。また、9月21日、あるいは各自で行っていただいた申

請地の現地確認、本日25日の農業委員会9月総会です。その他、個別に農地パトロールや現地確認をしていただいた方は、その旨ご記入ください。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

その他、皆様から活動に関してご報告がある方は挙手をお願いします。

他にございませんか。

(発言する者なし)

○新坂議長 それでは、委員の皆様からの報告は以上とします。

③その他

○新坂議長 続きまして、諸報告③その他、事務局より説明をお願いします。

○事務局(江口) 諸報告③その他ですが、2点ございます。

報告1点目は農家だよりです。資料の8になります。

こちら、今回の記事につきましては、主に農産物共進会開催決定の記事になります。

ただ、実行委員会がまだ開催されておられませんので、仮の記事となっておりますが、28日の実行委員会の開催後、記事を確定させてからの発行とさせていただきます。

また、右のページは、農業委員会の人事異動、生産緑地の斡旋の記事となっております。

また、今回の農家だよりの配付に併せて、最後もう1ページつけさせていただいた農産物出品事前調査票と規格表というのがございますが、こちらを同時に配付して、共進会に引き継がれる方も事前に調査を行う予定です。

2点目の報告になります。

次の総会までの各委員の会議等の予定です。

9月27日は議会の閉会日となっております、こちらは新坂会長にご出席をいただきます。

また、先ほど触れましたが、農産物共進会実行委員会が9月28日にありまして、こちらは新坂会長、浪間代理、本多委員にご出席をいただく予定です。

その他、会議出席等ございましたらご報告をお願いします。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

委員の皆様から何かございますか。

(発言する者なし)

○新坂議長 それでは、無いようでしたら、本日の議事は以上となります。

◎閉会

○新坂議長 本日は、皆様、長時間にわたり、誠にありがとうございました。おかげさまで滞りなく議事運営ができました。

以上をもちまして、令和5年和光市農業委員会9月総会を閉会します。

皆様、長時間お疲れさまでした。

閉会 午後 0時10分

上記は会議の内容を記載したものであるが、その内容の相違無い事を証するため、ここに署名する。

和光市農業委員会議長

署名委員

署名委員